

2018 年度 京都大学経済研究所

第 85 回 CAPS 研究会

及び

2018 年度京都大学経済研究所共同利用・共同研究拠点

「世代間の異質性を考慮した、少子高齢化の下で財政政策が日本経済に与える  
効果に関するマイクロデータと動学的一般均衡理論を用いた分析」研究集会

2018 年 8 月 25 日 (土)

於 京都大学経済研究所北館 N202 教室 (吉田キャンパス)

開会の辞 10 : 30

第 1 報告 10 : 30~11 : 00

大野太郎 (信州大学)

「地方交付税のリスク・シェアリング機能」

第 2 報告 11 : 00~11 : 30

松本龍太郎 (財務省財務総合政策研究所)

「家計における受益・負担の実態把握：個票を用いた再分配効果の分析」

第 3 報告 11 : 30~12 : 00

出水友貴 (財務省財務総合政策研究所)

「介護認定率の地域差要因分析」

閉会の辞 12 : 00